

実務経験のある教員等による授業科目一覧【生涯スポーツトレーナー介護福祉学科】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
介護の基本Ⅰ①	2	藤井圭祐		
生活支援技術Ⅰ	4	石橋真由美		
生活支援技術（生活支援と文化）	2	北田清美		
介護過程Ⅰ①	2	柴田仁子		
介護総合演習Ⅰ	4	石橋真由美		
介護実習	15	石橋真由美	鄭 瑞河	
こころとからだのしくみⅠ	4	池田友恵		
認知症の理解	4	宮本明美		
介護の基本Ⅰ②	2	藤井圭祐		
コミュニケーション技術A	2	鄭 瑞河		
生活支援技術Ⅱ	2	石橋真由美		
介護過程Ⅰ②	2	柴田仁子		
障害の理解	4	池田友恵		
発達と老化の理解	4	宮本明美		
医療的ケアⅠ	2	池田友恵		
介護の基本Ⅱ①	2	池田友恵		
生活支援技術（栄養・調理）	2	尾辻日々来	緒方優里子	
介護過程Ⅱ	2	池田友恵		
介護総合演習Ⅱ	4	鄭 瑞河		
こころとからだのしくみⅡ	4	宮本明美		
医療的ケアⅡ	2	宮本明美	池田友恵	
介護の基本Ⅱ②	2	池田友恵		
介護の基本Ⅲ	4	鄭 瑞河		
生活支援技術Ⅲ	2	石橋真由美	日野明江	
生活支援技術（家事の介護）	1	柴田仁子		
介護過程Ⅲ	4	池田友恵		
合 計	84			

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度		介護福祉学科		昼間Ⅰ部	
授業科目名	人間関係とコミュニケーションⅠ					担当者名		鄭 瑞河			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	この領域では、人間の多面的な理解を基礎に介護福祉士としての倫理基盤、コミュニケーションの基礎、チームで働く能力の基礎を養うことが目的である。本教科では、対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する。また、人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解できることを目指す。										
成績評価	定期試験（中間+期末）80%、課題10%、授業態度10%										
その他	鄭瑞河（実務経験なし）										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 1 「人間の理解」 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション、人間関係とコミュニケーションとは
2	人間と人間関係 ― 自分と他者の理解①
3	人間と人間関係 ― 自分と他者の理解②
4	社会心理観からみた人間関係
5	人間関係とストレス
6	対人関係におけるコミュニケーション ― 基本構造
7	対人関係におけるコミュニケーション ― 手段①
8	対人関係におけるコミュニケーション ― 手段②
9	人間関係の発展・後退とコミュニケーション
10	対人援助における基本的態度①
11	対人援助における基本的態度②
12	援助的人間関係の形成とバイステックの7つ原則
13	組織とは
14	組織におけるコミュニケーション ― 条件と特徴、情報の流れ
15	組織におけるコミュニケーション ― 求められるコミュニケーション まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	地域福祉論					担当者名		鄭 瑞河				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30						
授業概要	介護分野において中心的な制度である介護保険制度と障害者自立支援制度について、制度が施行された背景や根拠となる法律、仕組みについて学び、地域社会における高齢者や障害者の生活について理解する。そして、地域社会の変化や問題について近年の動向を読み介護実践につなげる力を身につけることを目指す。											
成績評価	定期試験（中間+期末）80%、課題10%、授業態度10%											
その他	鄭瑞河（実務経験なし）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 2「社会の理解」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション、地域とは
2	社会と生活のしくみ―生活の基本機能
3	社会と生活のしくみ―ライフスタイルの変化
4	社会と生活のしくみ―家族の機能と役割
5	社会と生活のしくみ―社会・組織の機能と役割
6	社会と生活のしくみ―地域、地域社会
7	社会と生活のしくみ―地域生活における生活支援
8	地域福祉の発展①
9	地域共生社会①理念
10	地域共生社会②取り組み
11	地域共生社会の実現
12	地域共生社会の実現 まとめ
13	地域包括ケア①理念
14	地域包括ケア②システム
15	地域包括ケア③ まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	保健体育理論 I					担当者名	得本 啓次		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期 30	後期	前期	後期
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。								
成績評価	レポート30% 試験70%								
その他	得本 啓次（実務経験なし）								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人 健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本	公益財団法人 健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園

回数	授 業 計 画
1	生涯スポーツ ガイダンス、生涯スポーツの必要性
2	トレーニング法 イメージトレーニングの基礎知識とマインドセット
3	トレーニング法 イメージ結合法の理解と実践
4	トレーニング法 イメージトレーニングの実践、発表
5	スポーツ心理学 カウンセリング、人間の心身発達理論
6	スポーツ心理学 コミュニケーションスキル種類を理解し、方法論を学び指導につなげる
7	スポーツマネジメント チームマネジメント、マーケティング戦略を理解し健康社会の貢献
8	解剖生理学 解剖学、生理学の概要、骨の組織構成
9	解剖生理学 筋肉の構造と働き、筋収縮のメカニズム
10	解剖生理学/運動指導 子どもの身体の特徴と子どもの運動指導
11	解剖生理学/運動指導 高齢者の身体の特徴と高齢者の運動指導
12	健康科学 日常生活での運動の重要性や姿勢の大切さ
13	生涯スポーツ 日常生活で取り組める運動を学び実践
14	関連法規・試験 生涯スポーツトレーナーに関わる法律や関連する法律・試験実施
15	総括 まとめと資格試験対策

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護の基本Ⅰ①					担当者名		藤井 圭祐			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					
授業概要	介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。「尊厳の保持」「自立支援」という介護福祉の基本となる理念を理解するとともに「介護を必要とする人」がその人らしく生活できるように介護実践の基礎となる知識を倫理的に学ぶ学習とする。										
成績評価	中間試験30% 期末試験60% 授業への取り組み10%（課題・授業への取り組み）										
その他	藤井圭祐（高齢者福祉施設において介護福祉士として勤務）										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉士養成講座3 介護の基本 I 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	2023介護福祉国試ナビ		中央法規出版

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション 介護とは何か
2	介護の成り立ち 介護福祉を取り巻く状況
3	介護福祉の歴史 1960年代
4	前回の授業ふり返し 介護福祉の歴史 1970年代
5	前回の授業の振り返り 介護福祉の歴史 1980年代
6	前回の授業の振り返り 介護福祉の歴史1990年代
7	前回の授業の振り返り 介護福祉の歴史2020年代
8	前回の授業の振り返り 介護福祉の基本理念 尊厳を支える介護
9	前回の授業の振り返り 介護福祉の基本理念 自立を支える介護
10	中間試験 解説 1回～8回講義の振り返り
11	社会福祉士及び介護福祉士法
12	前回の授業の振り返り 介護福祉士の活動と役割
13	前回授業の振り返り 介護福祉士に求められる役割とその養成
14	前回授業の振り返り 介護福祉士を支える団体
15	前期授業のまとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	生活支援技術Ⅰ					担当者名		石橋 真由美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						60						
授業概要	尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、生活支援の理解・居住環境の整備・自立に向けた移動移乗の介護・福祉用具の意義・応急手当の知識と技術・災害における生活支援を、根拠に基づいた介護実践を学ぶ講義とする。											
成績評価	授業態度 20%（参加意欲・発言・課題提出） 定期試験 80%（中間レポート・期末試験）											
その他	石橋 真由美 長期療養型医療施設において介護福祉士として勤務											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 6・7 生活支援技術 I・II	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	新介護福祉士養成講座12・14 発達と老化の理解・障害の理解	介護福祉士養成講座編成委員会	中央法規出版

回数	授 業 計 画
1	授業についてオリエンテーション 生活支援の基本的な考え方①
2	生活支援の基本的な考え方②
3	生活支援と介護過程
4	生活支援とチームアプローチ
5	住まいの役割と機能・生活空間について
6	快適な室内環境、安全に暮らすための生活環境
7	高齢者・障害者の住まい
8	住環境の整備における多職種との連携
9	自立に向けた移動・移乗の介護① ボディメカニクス
10	自立に向けた移動・移乗の介護② 起居動作 スライディングシート
11	自立に向けた移動・移乗の介護③ 安楽な姿勢
12	自立に向けた移動・移乗の介護④ 褥瘡予防
13	施設での生活支援① デイサービス・デイケアサービス（環境整備）
14	施設での生活支援① デイサービス・デイケアサービス（環境整備）
15	施設での生活支援② デイサービス・デイケアサービス（食事）
16	施設での生活支援② デイサービス・デイケアサービス（入浴・排泄）

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	生活支援技術Ⅰ					担当者名		石橋 真由美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						60						

[illegible]

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	生活支援技術（生活支援と文化）			担当者名	北田 清美、蓑田 のり子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期 30	後期	前期	後期
授業概要	生活支援と文化では、ICFの視点を踏まえて、生活支援技術の基本的な考え方や支援のあり方を理解し、生活の質を高め、その人に寄り添う支援方法を学ぶ。								
成績評価	2名の講師の評価点 総合点 90% 授業への取り組み 10%								
その他	蓑田 のり子（実未経験なし）北田 清美（介護老人保健施設において介護福祉士として勤務）								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書			
参考図書	適宜資料は講師より配布する。		

回数	授 業 計 画
1	授業内容について説明 自己紹介とコミュニケーションについて①
2	コミュニケーション方法について
3	生活の質を高めるためのフットケアの意義について①
4	生活の質を高めるためのフットケアの意義について演習①
5	生活の質を高めるためのフットケアの意義について演習②
6	授業についてオリエンテーション リラクゼーションについての基礎知識 （歴史・期待できる効果・目的・資格・関係規則等）
7	【フットリラクゼーション】施術者の心構え、配慮、注意事項、下腿、足部の骨・筋肉、足へのアーチ構造、反射区・ツボを学ぶ
8	＜実技＞腹臥位：下腿・足底部の押圧、 仰臥位：下腿・足部の押圧
9	＜技術＞腹臥位・仰臥位の施術、時間足底15分
10	【ハンドリラクゼーション】施術の心構え、配慮、注意事項、上肢・手部の骨・筋肉、反射区・ツボを学ぶ ＜実技＞仰臥位：上肢・手部の前面・後面の押圧
11	＜実技＞仰臥位：上肢・手部の前面・後面の押圧 時間計 10分
12	【フェイス&ヘッドリラクゼーション】 施術の心構え、配慮、注意事項、顔面・頭部・頸部の骨・筋肉、反射区・ツボを学ぶ
13	＜実技＞仰臥位：顔面・頭部の押圧
14	＜実技＞仰臥位：顔面・頭部・頸部の押圧 時間計測 20分
15	＜総合練習＞ペアでお互いに施術評価表に基づいた評価をし改善点を練習する。

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	介護過程 I ①				担当者名	柴田 仁子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期 30	後期	前期	後期
授業概要	専門知識・技術を統合し科学的思考に基づいた介護過程の展開を理解し、利用者の情報収集、アセスメント、援助計画の立案、実施、評価・考察を行い利用者の望む生活の実現を支援する方法を学び実践する。自立支援に向けた多職種協働によるチームアプローチの必要性について理解する。								
成績評価	中間試験(課題レポート) 20% 期末試験 80%								
その他	柴田仁子 障害者支援施設、訪問介護、グループホームにおいて介護福祉士として勤務								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 9 介護過程	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション 介護過程とは何か 介護過程の目的 介護過程で使われる語句について
2	日本人のライフスタイル 利用者の情報 ①施設利用・入所の理由 ②入所前の生活状況―さまざまな職業
3	利用者の情報 家族の状況について ジェノグラム キーパーソン
4	介護保険 要支援・要介護とは何か 身体障害者手帳と身体障害の種類 日常生活自立度
5	現病歴 既往歴 服薬について バイタルとは 視力と聴力
6	アセスメントとは何か アセスメントシート項目について 移動・移乗、身じたく、食事、排泄
7	アセスメントシート項目について 入浴・清潔保持、睡眠、コミュニケーション、精神・行動障害、意欲・生きがい 中間試験
8	している活動(生活状況)/できる活動と情報の解釈・関連付け・統合化について
9	生活課題とその根拠について
10	個別援助計画について 長期目標と短期目標
11	解決すべき課題(ニーズ)、援助の目標、援助の内容、実施及び結果、評価・考察について
12	介護過程展開記録で使う語句のまとめ グループワーク 事例を作成
13	グループワーク事例検討、
14	グループワーク事例の介護過程展開記録の作成
15	グループワーク事例の発表

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護総合演習Ⅰ					担当者名		石橋 真由美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		4			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30	30					
授業概要	介護総合演習は、各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習で学びを深化させるとともに、介護の専門職としての思考や態度の形成、自己教育力等を養う総合的な学習とする。											
成績評価	実習Ⅰ段階 施設実習評価 90% 授業への取り組み 10%											
その他	石橋 真由美 通所介護事業所において介護福祉士として勤務											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	新・介護福祉士養成講座 介護総合演習・介護実習	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	実習の手引き (2023)		

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション 介護総合演習の目的について説明
2	介護総合演習の意義と目的について
3	介護実習の種類（実習 I II）おもな内容 実習先の特徴（通所介護・通所リハビリテーション）について
4	介護実習での学びのポイント
5	実習先施設の概要について学ぶ（各施設パンフレット配布）
6	デイサービス・デイケアサービスで行われている生活支援の理解 余暇活動について
7	実習前指導 介護実習提出書類の作成・確認（個人票・守秘義務に関する誓約書等）
8	実習前指導① 実習生としてのマナー（電話のかけ方・お礼状の作成の仕方）
9	実習前指導② 実習生としてのマナー（実習前訪問について・服装）
10	実習前指導③ 介護実習の目標の立て方。
11	実習前指導④ 持参物の確認・実習日誌の書き方。
12	実習前指導⑤ 実習の心得について
13	実習前指導⑥ 利用者とのコミュニケーション方法
14	実習 I-A 振り返り① 施設へのお礼状作成 実習報告書作成
15	実習 I-A 振り返り② 実習報告書作成 提出 次回実習 I-Bについて説明
16	

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護実習					担当者名		石橋 真由美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				15	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						87	100					
授業概要	地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。											
成績評価	施設実習評価 90% 授業への取り組み 10%											
その他	石橋 真由美（通所介護事業所において介護福祉士として勤務）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	新・介護福祉士養成講座 介護総合演習・介護実習	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	実習の手引き(2023)		

回数	授 業 計 画
1	実習 I 段階 I-A 7月10日～7月28日（15日間） デイサービス／デイケアサービス
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	こころとからだのしくみ I			担当者名	池田 友恵				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	4				授業時間数	前期 60	後期	前期	後期
授業概要	介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する。 介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる人間のこころのしくみとからだのしくみの基礎的な知識を理解する。								
成績評価	定期試験: 80% 課題提出: 10% 授業態度: 10%								
その他	池田友恵: 病院(脳外科)、有料老人ホーム、グループホームにて看護師として勤務								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新 介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ I 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 書いて覚える! 合格ドリル		中央法規

回数	授 業 計 画
1	健康とは
2	健康とは
3	人間の欲求とは
4	自己実現と尊厳
5	こころのしくみ 脳のしくみ
6	認知のしくみ、学習・記憶・思考のしくみ
7	感情・情動、意欲・動機づけのしくみ
8	適応のしくみ
9	適応のしくみ 練習問題 解説
10	高齢者の人格と適応、ライチャードによる高齢者の人格分類
11	からだのしくみ 身体各部の名称
12	内臓の名称
13	中間試験 解説 DVD「人体のふしぎ」
14	細胞、遺伝
15	脳・神経
16	感覚器

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	こころとからだのしくみⅠ					担当者名		池田 友恵				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						60						

[illegible]

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	認知症の理解				担当者名	宮本 明美			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	4				授業時間数	前期 30	後期 30	前期	後期
授業概要	認知症の本質や認知症の人の心理状態、認知症特有の症状やケア、認知症を取り巻く社会環境など正しく理解し、認知症の方に対する適切な全人的ケアが提供できる知識を学習する。								
成績評価	中間試験20%（課題提出含） 期末試験80%								
その他	宮本明美（病院において看護師として勤務）								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉養成講座13「認知症の理解」	介護福祉養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 書いて覚える合格ドリル 2021	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規

回数	授 業 計 画
1	科目の概要 認知症とは何か、どのような病気か、歴史・概要
2	脳の構造・機能
3	うつとせん妄の違い（認知症の人の心理）
4	中核症状の理解
5	B P S Dの理解
6	認知症の原因疾患と症状・生活障害①
7	認知症の原因疾患と症状・生活障害②
8	認知症の原因疾患と症状・生活障害③
9	認知症の診断と重症度
10	認知症の治療薬・予防法・取り巻く状況
11	中間試験・解答解説 前半のまとめ
12	認知症ケアの理念と視点・当事者の視点からみえるもの
13	パーソン・センタード・ケアについて
14	全体のまとめ、試験対策
15	期末試験・解説
16	

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	保健体育理論Ⅱ					担当者名		得本 啓次				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要な不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業では主に実技指導を中心に行う。											
成績評価	レポート30% 期末試験70%											
その他	得本 啓次（実務経験なし）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人 健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本	公益財団法人 健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園

回数	授 業 計 画
1	スポーツ心理学 ガイダンス、より良い人間関係を築くための心理学
2	栄養学 スポーツ栄養学 三大栄養素と五大栄養素
3	運動指導 ティーボール ルール説明、審判方法、運営方法、指導法
4	運動指導 ティーボール 獲る投げる打つの基礎動作
5	運動指導 ティーボール 試合形式練習と試合運営
6	コンディショニング 基礎理論、アライメントチェック
7	指導法 トレーニング指導法理論、トレーニング方法の理解
8	指導法 トレーニング指導法実施、グループワーク
9	スポーツ医学 筋膜リリースと疲労回復
10	スポーツ医学 筋膜リリースのセルフマッサージ
11	コンディショニング コンディショニング体操
12	運動 静的ストレッチ、動的ストレッチの実践
13	運動指導 子どもの運動指導方法の特性と留意点
14	運動指導 高齢者の運動指導方法の特性と留意点
15	総括 まとめと資格試験対策

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護の基本Ⅰ②					担当者名		藤井 圭祐				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。「尊厳の保持」「自立支援」という介護福祉の基本となる理念を理解するとともに「介護を必要とする人」がその人らしく生活できるように介護実践の基礎となる知識を倫理的に学ぶ学習とする。											
成績評価	中間試験 30% 期末試験 60% 授業への取り組み 10%（課題・授業への取り組み）											
その他	藤井圭祐 高齢者福祉施設において介護福祉士として勤務											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新介護福祉士養成講座 介護の基本 I 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	2023 介護福祉国試ナビ		中央法規出版

回数	授 業 計 画
1	介護実践における倫理
2	倫理的対応が必要な事例
3	介護福祉士に求められる職業倫理
4	日本介護福祉士会倫理綱領
5	介護福祉における自立支援の考え方と利用者理解の視点
6	利用者の意思決定支援と生活意欲及び活動
7	就労支援 自立と生活支援
8	中間試験 解説 1回～7回までの振り返り
9	ICFの考え方
10	リハビリテーションとその実際
11	リハビリテーションを考えるうえでの障害の理解と評価・自立の捉え方・介護福祉士の役割
12	自立支援と介護予防①
13	自立支援と介護予防②グループワーク
14	自立支援と介護予防③発表 まとめ
15	前期・後期授業の振り返り／まとめ 期末試験について

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	コミュニケーション技術A					担当者名		鄭 瑞河			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	この領域では、利用者やその家族との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーションの基本を学ぶ。本教科では、コミュニケーションの意義や介護実践における基本となるコミュニケーションの考え方や技術を学ぶ。										
成績評価	定期試験（中間+期末）80%、課題10%、授業態度10%										
その他	鄭瑞河（グループホームにおいて介護福祉士として勤務）										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座5「コミュニケーション技術A」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション、コミュニケーションとは
2	介護におけるコミュニケーション
3	コミュニケーション態度に関する基本技術
4	言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本
5	目的別のコミュニケーション技術
6	集団におけるコミュニケーション技術
7	コミュニケーションの基本技術 まとめ
8	家族とのコミュニケーション
9	介護におけるチームのコミュニケーション
10	報告・連絡・相談の技術
11	記録の技術
12	会議・議事進行・説明の技術
13	事例検討に関する技術
14	情報の活用と管理のための技術
15	確認問題・解説 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	生活支援技術Ⅱ					担当者名		石橋 真由美			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							60				
授業概要	生活支援技術では、ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身じたく、食事、入浴、生活保持、排泄、休息・睡眠、人生の最終段階における介護について基礎的な知識・技術を学ぶ。										
成績評価	試験 期末テスト（介護技術演習50% 筆記試験40%） 授業への取り組み 10%（課題・レポート提出）										
その他	石橋 真由美 長期療養型医療施設において介護福祉士として勤務										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 6・7 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	新介護福祉士養成講座12・14 発達と老化の理解・障害の理解	介護福祉士養成講座編成委員会	中央法規出版

回数	授 業 計 画
1	授業についてのオリエンテーション 自立に向けた身じたくの介護①
2	自立に向けた身じたくの介護②
3	自立に向けた食事の介護①
4	自立に向けた食事の介護②
5	自立に向けた入浴・清潔保持の介護①
6	自立に向けた入浴・清潔保持の介護②
7	自立に向けた排泄の介護①
8	自立に向けた排泄の介護②
9	休息・睡眠の介護①
10	休息・睡眠の介護②
11	休息・睡眠の介護③
12	休息・睡眠の介護④
13	自立に向けた入浴・清潔保持の介護③
14	自立に向けた入浴・清潔保持の介護④
15	身じたくの介護における多職種との連携
16	食事の介護における多職種との連携

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護過程Ⅰ②					担当者名		柴田 仁子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	専門知識・技術を統合し科学的思考に基づいた介護過程の展開を理解し、利用者の情報収集、アセスメント、援助計画の立案、実施、評価考察を行い利用者の望む生活の実現を支援する方法を学び実践する。自立支援に向けた多職種協働によるチームアプローチの必要性について理解する。											
成績評価	中間試験 20% 期末試験 80%											
その他	柴田仁子 障害者支援施設、訪問介護、グループホームにおいて介護福祉士として勤務											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 9 介護過程	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	振り返り 介護過程展開記録の語句と記録紙記入の仕方について
2	利用者のさまざまな課題について知る 利用者が望む生活の課題について考察する
3	課題への対応 演習 移動・移乗の課題
4	課題への対応 演習 身じたくの課題
5	課題への対応 演習 食事についての課題
6	課題への対応 演習 排泄についての課題
7	課題への対応 演習 入浴・清潔保持の課題
8	課題への対応 演習 睡眠についての課題、BPSDに対応する課題
9	課題への対応 演習 コミュニケーションに対する課題
10	課題への対応 演習 コミュニケーション 回想法を経験する
11	課題への対応 演習 意欲・生きがいの課題
12	課題への対応 演習 意欲・生きがいに対する課題
13	課題の実施、評価・考察について
14	介護過程展開記録の作成
15	介護過程展開記録の作成・発表

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護総合演習Ⅰ					担当者名		石橋 真由美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		4			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						30	30					
授業概要	介護総合演習は、各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深化させるとともに、介護の専門職としての思考や態度の形成、自己教育力を養う総合的な学習とする。											
成績評価	各施設実習評価 90% 授業への取り組み 10%											
その他	石橋 真由美 通所介護事業所において介護福祉士として勤務											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	新・介護福祉士養成講座 介護総合演習・介護実習	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	実習の手引き		

回数	授 業 計 画
1	介護実習前オリエンテーション（施設への提出物確認・事前訪問についての注意事項等）
2	実習 I-B（グループホーム）実習前指導①
3	実習前指導②
4	実習前指導③
5	実習振り返り お礼状作成 実習 I-C（障害者支援施設）実習前指導①
6	実習前指導②
7	実習前指導③
8	実習 I-C 振り返り お礼状作成
9	実習 I 報告会準備①
10	実習 I 報告会準備②
11	実習 I 報告会準備③
12	実習 I 報告会準備④
13	実習 I 報告会準備⑤
14	実習報告会
15	実習報告会
16	

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護実習					担当者名		石橋 真由美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				15	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
						87	100					
授業概要	地域における様々なばにおいて、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。											
成績評価	施設実習評価 90% 授業への取り組み10%											
その他	石橋 真由美（通所介護事業所において介護福祉士として勤務）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	新・介護福祉士養成講座 介護総合演習・介護実習	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	実習の手引き（2023）		

回数	授 業 計 画
1	I－B 10月16日～10月27日（10日間） グループホーム実習
2	I－C 11月20日～12月1日（10日間） 障害者支援施設実習
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	障害の理解					担当者名		池田 友恵			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				
授業概要	介護と医療の連携を踏まえた実践力の向上を前提として、障害のある人の身体機能や心理をを理解し、家族や地域を含めた障害のある人の生活支援について学習する。 障害の概念や基本的理念、さらに障害の医学的・心理的側面の基礎的な知識を学ぶ。										
成績評価	定期試験：80％ 課題提出：10％ 受講態度：10％										
その他	池田友恵：病院（脳外科）、有料老人ホーム、グループホームにて看護師として勤務										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉士養成講座14 障害の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 受験ワークブック2023 下		中央法規

回数	授 業 計 画
1	障害とは 障害の概念
2	障害者福祉の基本理念
3	肢体不自由（運動機能障害）
4	知的障害
5	精神障害・高次脳機能障害
6	発達障害
7	中間試験 解説
8	知的障害、精神障害、発達障害 振り返り
9	知的障害、精神障害、発達障害 振り返り
10	肢体不自由（運動機能障害）振り返り
11	視覚障害
12	聴覚・言語障害 重複障害
13	重症心身障害
14	難病
15	まとめ 期末試験対策
16	

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	発達と老化の理解					担当者名		宮本 明美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							60					
授業概要	・ 成長、発達の観点から老化を理解し、老化によって起こる心理や身体機能の変化およびその特徴に関する基礎的な知識を習得する。 ・ 高齢者に多い疾病や老化に伴って生じる機能低下が及ぼす日常生活への影響などを理解し生活支援技術の根拠となる知識を習得する。											
成績評価	中間試験（課題提出含）20% 期末試験80%											
その他	宮本明美 病院において看護師として勤務											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉養成講座13「認知症の理解」	介護福祉養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 書いて覚える合格ドリル 2021	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規

回数	授 業 計 画
1	科目概要 発達と老化の理解とは 人間の成長と発達の基礎知識（発達とは、成長・発達に影響する因子）
2	過去・現在・未来（80歳）の自分を書いてみよう（演習）
3	人間の発達段階と発達課題（ピアジェ、エリクソン、ハピガースト）
4	身体的・心理的・社会的機能の発達と成長 老年期の特徴と発達課題、老化に伴うところからだの変化と生活
5	高齢者の疾患・症状の特徴（閉じこもり・廃用症候群・老年症候群）
6	高齢者の疾患・症状の特徴：筋骨系（骨粗鬆症・骨折・変形性膝関節症）と対策
7	高齢者の疾患・症状の特徴：筋骨系（骨粗鬆症・骨折・変形性膝関節症）と対策
8	高齢者の疾患・症状の特徴：脳神経系（パーキンソン病・脳血管疾患・脳出血・脳梗塞）と対策
9	高齢者の疾患・症状の特徴：脳神経系（パーキンソン病・脳血管疾患・脳出血・脳梗塞）と対策
10	高齢者の疾患・症状の特徴：皮膚感覚器系（白内障・難聴・脱水・ドライスキン）と対策
11	高齢者の疾患・症状の特徴：皮膚感覚器系（白内障・難聴・脱水・ドライスキン）と対策
12	高齢者の疾患・症状の特徴：循環器系（高血圧および伴って起こる疾患）と対策
13	高齢者の疾患・症状の特徴：循環器系（動脈硬化・心不全・糖尿病）とその対策
14	高齢者の疾患・症状の特徴：循環器系（動脈硬化・心不全・糖尿病）とその対策
15	中間試験・解説・前半のまとめ
16	高齢者の疾患・症状の特徴：呼吸器系（肺炎・COPD・インフルエンザ・コロナウイルス）とその対策

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	発達と老化の理解					担当者名		宮本 明美				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							60					

[illegible]

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部							
授業科目名	認知症の理解					担当者名		宮本 明美			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30	30				
授業概要	認知症の本質や認知症の人の心理状態、認知症特有の症状やケア、認知症を取り巻く社会環境など正しく理解し、認知症の方に対する適切な全人的ケアが提供できる知識を学習する。										
成績評価	中間試験20%（課題含） 期末試験80%										
その他	宮本明美 病院において看護師として勤務										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉養成講座13「認知症の理解」	介護福祉養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 書いて覚える合格ドリル 2021	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規

回数	授 業 計 画
1	認知症とは、中核症状、BPSDの振り返り
2	認知症の原因疾患と症状の振り返り
3	認知症の人の特性の理解・センター方式
4	健康状態のアセスメント
5	認知症の人のコミュニケーション
6	認知症の人へのケアの実態①
7	認知症の人へのケアの実態②
8	中間試験、解答解説 認知症の人の終末期医療と介護
9	家族への支援 レスパイトケア
10	介護福祉職への支援
11	認知症の人の地域生活支援
12	認知症サポーター養成講座
13	多職種連携と協働 まとめ
14	国家試験対策
15	期末試験 解説・解答
16	

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	医療的ケアⅠ					担当者名		池田 友恵				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
							30					
授業概要	医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。 医療的ケア実施の基礎として、医療的ケアとはどういうものか、また、介護福祉士が喀痰吸引や経管栄養の医行為の一部を業として行うことができるようになった背景など医療的ケアを安全に実施するための基礎知識について学ぶ。											
成績評価	定期試験：80％ 演習・提出物：10％ 授業態度：10％											
その他	池田友恵：病院（脳外科）、有料老人ホーム、グループホームにて看護師として勤務											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉士養成講座15 医療的ケア 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	図解でスッキリ！介護福祉士テキスト	秋草学園福祉教育専門学校	ナツメ社

回数	授 業 計 画
1	医療的ケアとは
2	医療的ケアの背景
3	喀痰吸引等制度
4	医行為とは 医療の倫理
5	清潔保持と感染予防
6	スタンダードプリコーション
7	中間試験
8	安全な療養生活 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施
9	安全な療養生活 リスクマネジメント
10	健康状態の把握 心身・精神の健康
11	健康状態の把握 バイタルサイン
12	健康状態の把握 バイタルサイン測定演習
13	安全な療養生活 救急蘇生法
14	安全な療養生活 救急蘇生法 演習
15	期末試験前 まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	人間の理解					担当者名		鄭 瑞河				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								30				
授業概要	人間の理解を基礎として、尊厳の保持と自立について理解し、介護福祉の倫理的課題への対応能力の基礎を養う学習とする。人間の尊厳と自立では、介護福祉を実践するために必要な人間に対する基本的理解を養う。福祉理念の歴史的変遷を学ぶことを通して人間の尊厳・人権尊重及び権利擁護の考え方を養う。また、本人主体の観点から自立の考え方、自立生活の理解を通しその生活を支える必要性を理解する。											
成績評価	定期試験（中間+期末）80%、課題10%、授業態度10%											
その他	鄭瑞河（実務経験なし）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 1「人間の理解」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	最新・介護福祉士養成講座 2「社会の理解」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション（人間の理解、人間の尊厳、自立とは）
2	自立のあり方―自立に欠かせないもの
3	自立のあり方―介護を必要とする人の自立と自立支援
4	人間の尊厳と人権・福祉理念―人間の尊厳と利用者主体
5	人間の尊厳と人権・福祉理念―人権思想
6	人間の尊厳と人権・福祉理念―人権・福祉理念の変遷
7	人間の尊厳と人権・福祉理念―権利侵害・権利擁護
8	人間の尊厳と自立のまとめ
9	個人の権利を守る制度―虐待防止法①
10	個人の権利を守る制度―虐待防止法②
11	個人の権利を守る制度―成年後見制度、日常生活自立支援事業①
12	個人の権利を守る制度―成年後見制度、日常生活自立支援事業②
13	個人の権利を守る制度―サービス利用・消費者保護①
14	個人の権利を守る制度―サービス利用・消費者保護②
15	まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	社会と制度の理解Ⅰ					担当者名		鄭 瑞河			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	地域社会における生活とその支援について基礎的な知識、および社会保障制度・施策についての基礎的な知識を身につけることを目的としている。社会と制度の理解Ⅰでは、日本の社会保障に焦点を当て、制度の基本的な考え方、しくみについて理解する学習とする。また、介護実践に必要な観点から、介護実践に関する諸制度の紹介と基礎的な知識の学習とする。										
成績評価	定期試験（中間+期末）80%、課題10%、授業態度10%										
その他	鄭瑞河（実務経験なし）										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 2「社会の理解」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション、「地域福祉論」振り返り
2	社会保障制度—基本的な考え方
3	社会保障制度—ライフサイクルからみた社会保障
4	社会保障制度—日本の社会保障制度の発達
5	社会保障制度—日本の社会保障制度のしくみ
6	社会保障制度—年金保険①
7	社会保障制度—年金保険②
8	社会保障制度—年金保険③
9	社会保障制度—医療保険①
10	社会保障制度—医療保険②
11	社会保障制度—雇用保険と労働者災害補償保険
12	社会保障制度—社会扶助、生活保護制度①
13	社会保障制度—生活保護制度②
14	社会保障制度—現代社会と社会保障制度①
15	社会保障制度—現代社会と社会保障制度② まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護の基本Ⅱ①					担当者名		池田 友恵			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。 介護を受けて生活する人の生活の理解、フォーマル・インフォーマルなサービス、市域連携、安全の確保のための基礎知識について理解する。										
成績評価	定期試験：80% 課題提出：10% 授業態度：10%										
その他	池田友恵：病院（脳外科）、有料老人ホーム、グループホームにて看護師として勤務										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉士養成講座4 介護の基本Ⅱ 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 受験ワークブック2023 上		中央法規

回数	授 業 計 画
1	私たちの生活の理解 介護福祉を必要とする人の理解
2	「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解
3	生活しづらさの理解とその支援
4	利用者の生活を支えるしくみ
5	生活を支えるフォーマルサービス 居宅サービス、施設サービス
6	生活を支えるフォーマルサービス 地域密着型サービス
7	中間試験 解説 生活を支えるインフォーマルサービス
8	地域連携
9	介護における安全の確保
10	リスクマネジメント
11	感染症対策
12	介護の基本Ⅰ 復習（ICF）
13	介護の基本Ⅰ 復習 （社会福祉士及び介護福祉士法）
14	介護の基本Ⅱ 前期復習
15	介護の基本Ⅱ 前期復習

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	コミュニケーション技術B					担当者名		宮本 明美			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			
授業概要	コミュニケーションの基礎的な知識を基盤に、本人及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。介護におけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。										
成績評価	中間試験（課題提出含）20％ 期末試験80％										
その他	宮本明美 病院において看護師として勤務										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉養成講座5「コミュニケーション技術」	介護福祉養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 書いて覚える合格ドリル 2021	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規

回数	授 業 計 画
1	コミュニケーション障害の原因
2	コミュニケーション障害のアセスメント コミュニケーション支援の基本
3	対象者の特性に応じたコミュニケーション 視覚障害のある人への支援
4	対象者の特性に応じたコミュニケーション 聴覚障害のある人への支援
5	対象者の特性に応じたコミュニケーション 構音障害のある人、失語症の人への支援
6	対象者の特性に応じたコミュニケーション 認知症、精神障害の人への支援
7	対象者の特性に応じたコミュニケーション 知的障害、発達障害のある人への支援
8	対象者の特性に応じたコミュニケーション 高次機能障害のある人への支援 中間試験
9	家族とのコミュニケーション
10	介護におけるチームのコミュニケーション 報告・連絡・相談の技術
11	介護におけるチームのコミュニケーション 事例検討
12	コミュニケーション技術のまとめ 重要事項のまとめ
13	国家試験対策 事例を読み解く
14	国家試験対策 事例を読み解く
15	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	生活支援技術（栄養・調理）					担当者名		尾辻 日々来、緒方 優里子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								60			
授業概要	人間が健康な生活を営むために必要な五大栄養素の働きを理解する。高齢者・障害者の身体的特徴を考慮しながら、介護福祉士が支援をするために必要な知識を養う。また、調理実習を通して調理の基礎を習得し、高齢者・障害者が食べやすい料理について学ぶ。										
成績評価	レポート提出30% 授業・実習態度10% 期末試験60%										
その他	尾辻 日々来:特別養護老人ホームにて管理栄養士として勤務、緒方 優里子:ケアハウスにて管理栄養士として勤務										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉養成講座8「生活支援技術Ⅲ」	介護福祉養成講座編集委員会	中央法規
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	食事の意義と食文化
2	食支援と多職種連携
3	高齢者の食事の特徴と注意点①
4	高齢者の食事の特徴と注意点②
5	栄養・栄養素
6	栄養・栄養素
7	基本の献立作成
8	食品衛生
9	高齢者の食事の特徴と注意点③
10	高齢者の食事の特徴と注意点④（復習）
11	国家試験対策・解説
12	国家試験対策・解説
13	食中毒
14	食中毒
15	調理実習 準備
16	調理実習 準備

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	生活支援技術（栄養・調理）					担当者名		尾辻 日々来、緒方 優里子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								60				

[illegible]

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	介護過程 II					担当者名	池田 友恵		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
								30	
授業概要	介護過程の意義・目的および介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎知識理解、介護過程とチームアプローチ、個別事例を通じた介護過程の展開の実際について、介護総合演習や介護実習、生活支援技術など他の科目との連携を視野に入れて、介護過程を展開できる能力を養う。								
成績評価	記録物（介護過程の展開）：60% 課題提出：30% 授業態度：10%								
その他	池田友恵：病院（脳外科）、有料老人ホーム、グループホームにて看護師として勤務								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新 介護福祉士養成講座9 介護過程 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	図解でスッキリ！介護福祉士テキスト	秋草学園福祉教育専門学校	ナツメ社

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション 介護過程 I の振り返り 介護過程の理解
2	介護過程の展開の理解 事例に沿った介護過程の展開
3	事例に沿った介護過程の展開 個人ワーク：アセスメントシート作成
4	事例に沿った介護過程の展開 個人ワーク：アセスメントシート作成
5	事例に沿った介護過程の展開 個人ワーク：アセスメントシート作成
6	事例に沿った介護過程の展開 個人ワーク：個別援助計画 長期目標と短期目標
7	事例に沿った介護過程の展開 個人ワーク：個別援助計画 援助の内容
8	事例に沿った介護過程の展開 個人ワーク：個別援助計画 実施及び結果
9	事例に沿った介護過程の展開 まとめ
10	事例に沿った介護過程の展開 個人ワーク：実際の利用者の介護過程の展開
11	事例に沿った介護過程の展開 実習中の介護過程の展開 修正
12	事例に沿った介護過程の展開 実習中の介護過程の展開 修正
13	事例に沿った介護過程の展開 記録の印刷・製本
14	事例に沿った介護過程の展開 記録の印刷・製本
15	事例に沿った介護過程の展開 記録の製本、提出

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護総合演習Ⅱ					担当者名		鄭 瑞河				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		4			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								30	30			
授業概要	実習Ⅱでは個別ケアを理解するため、介護過程に基づいた専門的・計画的なものであることを理解し、体験することができる。介護過程の展開から、専門的で計画的な介護サービスを提供する能力を身につけることができる。さらに、実習を振り返り、介護の意識や技術を実践と結びつけて統合、深化させるとともに自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。											
成績評価	施設実習評価70%、授業態度20%、提出物10%											
その他	鄭瑞河（グループホームにおいて介護福祉士として勤務）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション、実習Ⅰ振り返り
2	実習前 実習Ⅱについて
3	実習前 実習に向けた姿勢等・計画・目標作成
4	実習前 介護過程展開の計画
5	実習前 実習準備①
6	実習前 実習準備②
7	実習前 実習準備③ 実習前の最終確認
8	実習後 振り返り お礼状作成
9	実習Ⅱで展開した介護過程のまとめと振り返り（介護過程と連携）
10	実習日誌・記録等にて振り返り
11	実習報告会の準備
12	実習報告会の準備
13	実習報告会の準備
14	実習報告会の準備
15	実習報告会 まとめ
16	

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護実習					担当者名		鄭 瑞河				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数				15	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								100	163			
授業概要	介護実習では、個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働ら関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。											
成績評価	施設の評価100%											
その他	鄭瑞河（グループホームにおいて介護福祉士として勤務）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	実習の手引き		

回数	授 業 計 画
1	実習Ⅱ 介護老人福祉施設・介護老人保健施設 令和5年6月5日（月）～7月7日（金）25日間の実習
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	障害の理解					担当者名	池田 友恵		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期
								30	
授業概要	介護と医療の連携を踏まえた実践力の向上を前提として、障害のある人の身体機能や心理をを理解し、家族や地域を含めた障害のある人の生活支援について学習する。 障害の概念や基本的理念を踏まえ、障害の医学的・心理的側面の基礎的な知識を学び、障害のある人のライフステージや特性に応じた支援、生活を支えるための社会資源、関係機関との連携、家族への支援について学びを深める。								
成績評価	定期試験：80% 課題提出：10% 授業態度：10%								
その他	池田友恵：病院（脳外科）、有料老人ホーム、グループホームにて看護師として勤務								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新 介護福祉士養成講座14 障害の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 受験ワークブック2023 下		中央法規

回数	授業計画
1	1年次の復習 重症心身障害について（復習）
2	視覚障害、聴覚・言語障害、重複障害
3	内部障害
4	内部障害
5	内部障害
6	内部障害
7	中間試験 解説
8	連携と協働
9	家族への支援
10	障害者福祉に関連する制度
11	障害者福祉に関連する制度
12	障害の理解 まとめ：肢体不自由・視覚障害・聴覚障害
13	障害の理解 まとめ：知的障害・精神障害・高次脳機能障害・発達障害
14	障害の理解 まとめ：内部障害・難病
15	障害の理解 まとめ：制度他
16	

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	こころとからだのしくみⅡ				担当者名	宮本 明美			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期
								30	30
授業概要	人体のしくみを理解したうえで、機能の低下がどのように生活行動に影響するかを考えることができ、利用者の残存能力・潜在能力に注目してどのような介護方法が適切か自立支援の観点より考えることが出来る。								
成績評価	中間試験（課題提出含）20% 期末試験80%								
その他	宮本明美 病院において看護師として勤務								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉養成講座Ⅱ「こころとからだのしくみ」	介護福祉養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 書いて覚える合格ドリル 2021	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規

回数	授 業 計 画
1	こころとからだのしくみⅠの振り返り こころとからだのしくみⅡの概要説明
2	移動のしくみ
3	心身の機能低下が移動に及ぼす影響
4	変化の気づきと対応
5	身じたくのしくみ
6	心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響
7	変化の気づきと対応
8	食事のしくみ
9	中間試験 心身の機能低下が食事に及ぼす影響
10	変化の気づきと対応
11	入浴・清潔保持のしくみ
12	心身の機能低下が入浴・生活に及ぼす影響
13	変化の気づきと対応
14	国家試験問題・解説 まとめ
15	期末試験・解説
16	

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	医療的ケアⅡ 演習			担当者名	宮本 明美、池田 友恵				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期
							60		
授業概要	職業倫理、医療的ケアを必要とする利用者やその家族の気持ち、医療従事者との連携の大切さと安全性、制度など医療的ケアを行うに必要な知識、価値観、技術を習得する。								
成績評価	技術試験60% 期末試験40%								
その他	実務経験の有無：有（病院勤務）								

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉養成講座15「医療的ケア」	介護福祉養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 書いて覚える合格ドリル 2021	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規

回数	授 業 計 画
1	医療的ケアとは 実施の基盤についてのオリエンテーション
2	実施の基盤についてのオリエンテーション
3	医行為 喀痰吸引制度 背景 その他の制度
4	医行為 喀痰吸引制度 背景 その他の制度
5	安全な療養生活 生活保持と感染予防 健康状態の把握
6	安全な療養生活 生活保持と感染予防 健康状態の把握
7	実施に際してのオリエンテーション 喀痰吸引実施手順解説（テキスト・DVD）
8	喀痰吸引デモンストレーション・実施
9	喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ）実施（演習）技術チェックと課題 ※5回以上
10	喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ）実施（演習）技術チェックと課題 ※5回以上
11	喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ）実施（演習）技術チェックと課題 ※5回以上
12	喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ）実施（演習）技術チェックと課題 ※5回以上
13	喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ）実施（演習）技術チェックと課題 ※5回以上
14	喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ）実施（演習）技術チェックと課題 ※5回以上
15	喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ）実施（演習）技術チェックと課題 ※5回以上
16	喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ）実施（演習）技術チェックと課題 ※5回以上

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	医療的ケアⅡ 演習					担当者名		宮本 明美、池田 友恵				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								60				

[illegible]

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	人間関係とコミュニケーションⅡ					担当者名		鄭 瑞河				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									30			
授業概要	本教科では、介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。さらに、介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用等の人材管理、それらに必要なリーダーシップ・フォロワーシップ等、チーム運営基本の理解を目指す。											
成績評価	定期試験（中間+期末）80%、課題10%、授業態度10%											
その他	鄭瑞河（実務経験なし）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 1「人間の理解」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション、「人間関係とコミュニケーションⅠ」振り返り
2	介護実践におけるチームマネジメントの意義①
3	介護実践におけるチームマネジメントの意義②
4	ケアを展開するためのチームマネジメント①
5	ケアを展開するためのチームマネジメント②
6	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント①
7	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント②
8	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント③
9	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント④
10	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント⑤
11	組織の目標達成のためのチームマネジメント①
12	組織の目標達成のためのチームマネジメント②
13	組織の目標達成のためのチームマネジメント③
14	組織の目標達成のためのチームマネジメント④
15	まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	社会と制度の理解Ⅱ					担当者名		鄭 瑞河			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	地域社会における生活とその支援について基礎的な知識、および社会保障制度・施策についての基礎的な知識を身につけることを目的としている。社会と制度の理解Ⅱでは、高齢者保健福祉と障害者保健福祉に焦点を当て、主となる制度である介護保険制度と障害者総合支援制度の基本的な考え方、しくみについて理解する学習とする。										
成績評価	定期試験（中間+期末）80%、課題10%、授業態度10%										
その他	鄭瑞河（実務経験なし）										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 2「社会の理解」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション、「社会と制度の理解Ⅰ」振り返り
2	高齢社会対策基本法と介護保険制度の概要①
3	介護保険制度の概要②
4	介護保険制度①
5	介護保険制度②
6	介護保険制度③
7	介護保険制度④ まとめ
8	障害者保健福祉と障害者総合支援制度
9	障害者総合支援制度①
10	障害者総合支援制度②
11	障害者総合支援制度③
12	障害者総合支援制度④
13	障害者総合支援制度⑤
14	介護実践に関する諸制度
15	まとめ

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護の基本Ⅱ②					担当者名		池田 友恵			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。 他職種の専門性の理解、多職種協働による介護の実践、さらに介護従事者の健康管理について学び、介護実践に活かせる能力を養う。										
成績評価	定期試験：80% 課題提出：10% 授業態度：10%										
その他	池田友恵：病院（脳外科）、有料老人ホーム、グループホームにて看護師として勤務										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉士養成講座4 介護の基本Ⅱ 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 受験ワークブック2023 上		中央法規

回数	授 業 計 画
1	多職種連携・協働の必要性 多職種連携・協働に求められる能力
2	保健・医療・福祉職の役割と機能 多職種連携・協働の実践
3	練習問題 解説
4	介護従事者の安全 健康管理の意義と目的
5	こころの健康管理 身体の健康管理
6	労働環境の整備 練習問題
7	練習問題 解説
8	中間試験
9	国家試験対策 (ICF)
10	国家試験対策 (社会福祉士及び介護福祉士法 義務規定)
11	国家試験対策 (模擬試験解説)
12	国家試験対策 (模擬試験解説)
13	国家試験対策
14	期末試験対策
15	期末試験対策

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護の基本Ⅲ					担当者名		鄭 瑞河				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									60			
授業概要	介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職として能力と態度を養う学習とする。介護実践の基礎となる知識を「介護の基本Ⅰ・Ⅱ」では理論的に学び、「介護の基本Ⅲ」においてはそれを振り返り、より理解を深めることを目標とする。 また、国家試験に向けて、総合的な基礎知識・問題に対する読解力を習得する。											
成績評価	定期試験（中間+期末）70%、授業態度30%											
その他	鄭瑞河（グループホームにおいて介護福祉士として勤務）											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	最新・介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規

回数	授 業 計 画
1	「介護の基本Ⅰ」振り返り
2	「介護の基本Ⅰ」振り返り
3	確認問題
4	確認問題
5	解説
6	解説
7	第1回中央法規模擬試験の解説
8	第1回中央法規模擬試験の解説
9	「介護の基本Ⅰ」振り返り
10	「介護の基本Ⅰ」振り返り
11	「介護の基本Ⅰ」振り返り
12	確認問題
13	確認問題
14	解説
15	解説
16	学力評価試験の解説

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	介護の基本Ⅲ					担当者名		鄭 瑞河				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									60			

[illegible]

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	生活支援技術Ⅲ					担当者名		石橋 真由美、日野 明江				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									60			
授業概要	尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が維持できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。また、障害や疾病のある人への生活支援において介護福祉士が果たすべき役割を理解する。											
成績評価	期末試験 90% 授業への取り組み 10%											
その他	石橋 真由美、日野 明江、 長期療養型医療施設において介護福祉士として勤務											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 6・7・8 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	新介護福祉士養成講座1 14 障害の理解	介護福祉士養成講座編成委員会	中央法規出版

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション：授業概要 利用者の状態・状況に応じた生活支援技術とは
2	障害や疾病とともに生活する人を支える生活支援とは
3	さまざまな障害や疾病について① グループワーク
4	さまざまな障害や疾病について② グループワーク
5	肢体不自由に応じた生活支援技術①
6	肢体不自由に応じた生活支援技術②
7	視覚障害に応じた介護① 外部講師による講義（歩行訓練士）
8	視覚障害に応じた介護② 外部講師による講義（歩行訓練士）
9	聴覚・言語障害に応じた介護①
10	聴覚・言語障害に応じた介護②
11	重複障害（盲ろう）に応じた介護 DVD鑑賞（ヘレンケラー）
12	重複障害（盲ろう）に応じた介護 DVD鑑賞（ヘレンケラー）レポート作成
13	【内部障害】 心臓機能障害に応じた介護①
14	【内部障害】 心臓機能障害に応じた介護②
15	【内部障害】 呼吸器障害に応じた介護①
16	【内部障害】 呼吸器障害に応じた介護②

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間 I 部					
授業科目名	生活支援技術Ⅲ					担当者名		石橋 真由美、日野 明江				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									60			

[illegible]

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	生活支援技術（家事の介護）					担当者名		柴田 仁子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		
授業概要	生活を円滑に快適にするためには、家事の知識や技術は重要である。毎日行われているさまざまな家事はその人らしい生活の継続を支援することになる。また、自立に向けた家事の介護をするために介護福祉職がすべきことについて理解する。										
成績評価	中間試験（課題） 20% 期末試験 80%										
その他	柴田仁子 障害者支援施設、訪問介護、グループホームにおいて介護福祉士として勤務										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術 I I	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
参考図書	家事の基本 大事典	成美堂出版編集部	成美堂出版

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション ライフステージとライフサイクル 生活支援と家事支援
2	家事とは何か 家事の種類には何がある 家事をする意味 自立した家事の介護
3	防災の基本 災害時における生活支援
4	料理の基本 調理の介護 調理の意義 献立の考え方 季節・行事の食事
5	食材の切り方 調理法の種類 食品の保存法 衛生管理と食中毒の予防
6	洗濯の基本 洗濯の方法 洗濯機 洗剤の種類と使い方 洗濯物の干し方 おしゃれ着の洗濯（表示の見方）
7	衣服のたたみ方 衣服の収納・片づけの基本 衣替え 季節に応じた衣服管理
8	衣服の補修の介護 縫い方の種類 ボタン付け 裾上げ
9	掃除の基本 掃除・ごみ捨ての介護 重要な物の収納について 場所別の掃除の仕方 掃除の洗剤 四季に応じた家事—生活の彩①
10	寝具・衣服・住居設備の衛生管理 在宅と施設
11	買い物の介護 買い物の方法と支援 家庭経営家計の管理
12	国家試験対策 家事の介護のまとめ①
13	国家試験対策 家事の介護のまとめ②
14	グループワーク 利用者の生活を支える家事支援について
15	四季に応じた家事支援—生活の彩②

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護過程Ⅲ					担当者名		池田 友恵				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		4			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									60			
授業概要	介護過程の意義・目的および介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎知識理解、介護過程とチームアプローチ、個別事例を通じた介護過程の展開の実際について、介護総合演習や介護実習、生活支援技術など他の科目との連携を視野に入れて、介護過程を展開できる能力を養う。さまざまな背景をもつ利用者の介護過程の展開を通して、利用者本人の望む生活の実現に向けた適切な支援（個別ケア）を導き出す方法を学ぶ。											
成績評価	定期試験：70％ 課題提出：20％ 授業態度：10％											
その他	池田友恵：病院（脳外科）、有料老人ホーム、グループホームにて看護師として勤務											

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉士養成講座9 介護過程 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 受験ワークブック2023 下		中央法規

回数	授 業 計 画
1	科目オリエンテーション
2	介護過程の展開 記録の確認
3	介護過程とケアマネジメントの関係性
4	介護過程とケアマネジメントの関係性
5	チームアプローチにおける介護福祉士の役割
6	チームアプローチにおける介護福祉士の役割
7	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開 実習での学び：個人ワーク、振り返り
8	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開 実習での学び：個人ワーク、振り返り
9	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開 実習での学び：グループワーク、意見交換
10	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開 実習での学び：グループワーク、意見交換
11	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 発表会に向けて グループワーク
12	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 発表会に向けて グループワーク
13	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 発表会に向けて グループワーク
14	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 発表会に向けて グループワーク
15	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 発表会に向けて グループワーク
16	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 発表会に向けて グループワーク

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度		介護福祉学科		昼間 I 部	
授業科目名	介護過程Ⅲ					担当者名		池田 友恵				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		4			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
									60			

[illegible]

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校					
							令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	介護総合演習Ⅱ					担当者名		鄭 瑞河				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数		4			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
								30	30			
授業概要	実習Ⅱでは個別ケアを理解するため、介護過程に基づいた専門的・計画的なものであることを理解し、体験することができる。介護過程の展開から、専門的で計画的な介護サービスを提供する能力を身につけることができる。さらに、実習を振り返り、介護の意識や技術を実践と結びつけて統合、深化させるとともに自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。											
成績評価	提出物70%、授業態度30%											
その他	鄭瑞河（グループホームにおいて介護福祉士として勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション、実習Ⅰ・Ⅱ振り返り
2	実習Ⅰ・Ⅱ振り返り
3	実習Ⅰ・Ⅱ振り返り
4	事例研究とは
5	事例研究の実践
6	事例研究の実践
7	事例研究の実践
8	事例研究の実践
9	事例研究の実践
10	事例研究の実践
11	事例研究の実践
12	事例研究の実践
13	まとめ
14	外部講師による心肺蘇生講習会
15	外部講師による心肺蘇生講習会
16	

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
						令和 5年度 介護福祉学科 昼間Ⅰ部					
授業科目名	こころとからだのしくみⅡ					担当者名		宮本 明美			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	4				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30	30		
授業概要	人体のしくみを理解したうえで、機能の低下がどのように生活行動に影響するかを考えることができ、利用者の残存能力・潜在能力に注目してどのような介護方法が適切か自立支援の観点より考えることが出来る。										
成績評価	中間試験（課題提出含）20% 期末試験80%										
その他	宮本明美 病院において看護師として勤務										

使用教材	書 籍 名	著 者 名	出版社名
教科書	最新 介護福祉養成講座Ⅱ「こころとからだのしくみ」	介護福祉養成講座編集委員会	中央法規
参考図書	介護福祉士国家試験 書いて覚える合格ドリル 2021	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規

回数	授 業 計 画
1	排泄のしくみ
2	心身の機能低下が排泄に及ぼす影響
3	変化の気づきと対応
4	休息・睡眠のしくみ
5	心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響
6	変化の気づきと対応 中間試験・解説
7	人生の最終段階に関する「死」のとらえ方
8	それぞれの「死生観」、死に対するこころの理解
9	終末期化から危篤状態、死後のからだの理解
10	終末期における医療職との連携
11	国家試験対策（過去問・模擬試験・解説）
12	国家試験対策（過去問・模擬試験・解説）
13	国家試験対策（過去問・模擬試験・解説）
14	国家試験対策（過去問・模擬試験・解説）
15	期末試験・解説
16	